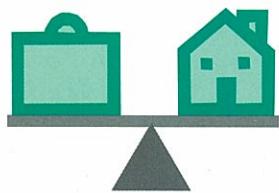


特集

理想のバランスを見つけて 豊かな人生を!

あなたのワークライフバランスを実現するために



仕事と生活のバランスを上手にとれば、
心身ともにゆとりのある暮らしに近づく。
今こそあなたらしいワークライフバランスを
考えてみませんか？

女性に対する尊重と育ての両立支援を中心進められていました。その後、男性を含め働く人すべての働き方を見直し、やりがいや充実感をもつて安心して働ける社会をつくるための取り組みへと発展し、2007年には「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」が策定されました。浦安市でも、「改定うらやす男女共同参画プラン」の中で、ワーク・ライフ・バランスの推進を目標の一つに掲げ、取り組みを進めています。

にしたことがありますか？ 仕事と生活のバランスを上手にとることで仕事にも生活にもプラスの効果が得られる、という考え方で、近年注目されつつあります。この考え方が広がりを見せ始めたのは、1980年代後半のこと。イギリスやアメリカで、企業が取り組み始めたのが最初だといわれています。日本では、当初、働く女性に対する仕事と子育ての両立支援を中心進められていました。その後、男性を含め働く人すべての働き方を見直し、や

ための時間、家事や子育て、介護、地域活動を行いう時間を確保するのが難しくなつているようです。

れの働き方や生活のあり方を考え直してみてはいかがでしょう。家族との時間を大切にしたり、キャリアアップのための時間を持つつたり、地域活動に参加するなどのゆとりができることで、生活に活力や潤いが生まれるのではないか。家庭や地域、さらには職場でも新しい発見やコミュニケーション、人間関係が生まれてくる、そんなプラスの循環を目指してみませんか。

あなたらしい ワークライフバランスを

働き方や生活のあり方を見直し、それがワーク・バランスを上手にとること、それがワーク・バランスです。やりがいのある仕事を長く続けることができれば、より前向きな意欲を生むこととなり、働く人本人にも、企業側にも大きなメリットが生まれるでし

の働き方や生活のあり方を考え直してみてはいかがでしょう。家族との時間を大切にしたり、キャリアアップのための時間を持つつたり、地域活動に参加するなどのゆとりができることで、生活に活力や潤いが生まれるのではないか。家庭や地域、さらには職場でも新しい発見やコミュニケーション、人間関係が生まれてくる、そんなバランスの循環を目指してみませんか。

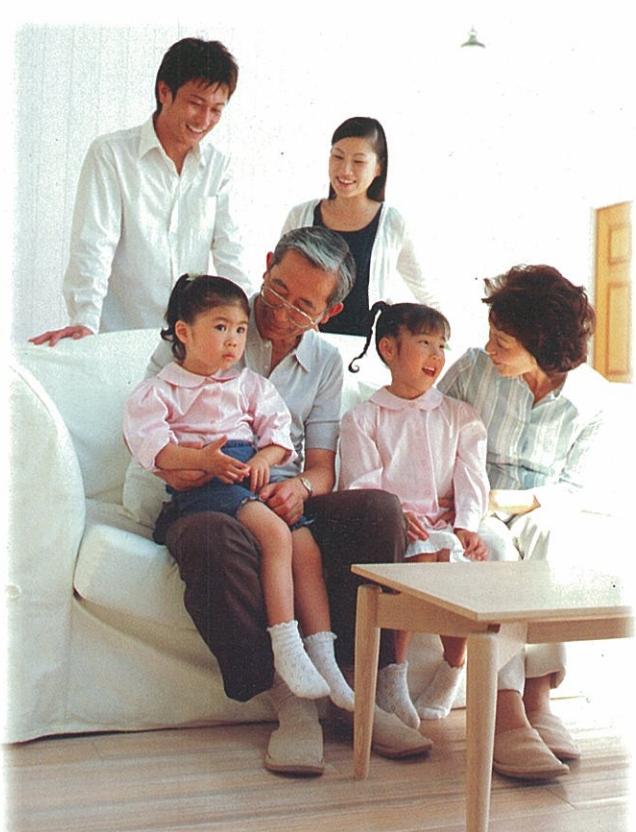
ワーケーブラランスの 始まり

の実情です。内閣府発行の男女共同参画白書(平成20年度版)によると、平均週間就業時間は、最も長い30歳代男性で約49時間となつており、30～40歳代の男性の約2割が週60時間以上働いています。また、残業が多いほど疲労感が強くなり、退社後は何もやる気にならないと感じる人の割合が増えています。長時間にわたる労働は、心身の健康に悪影響を及ぼしかねません。さらに、

次号(09年3月予定) | 特集「性差医療」
女性にとっても、男性にとっても、互いに健康に過ごすことは大切なことです。今、話題になっている「性差医療」を取りあげます。

また、企業でも、ワーカーライフバランスの推進は、働く人が活力を持つて仕事に取り組むことができるとともに、有能な人材が確保できるなどの大きなメリットがあるとして、労働条件や職場環境を見直すなど、誰もが働きやすい環境づくりを目指す動きが始まっています。

なぜワークライフバランスが必要なのか



A colorful illustration featuring a family of four (two adults and two children) and a man in a suit. The man in the suit is holding a book and gesturing with his hands while speaking. The family members are also gesturing and smiling. Speech bubbles contain the following text:

- 協力して
家事をしよう
- 地域デビュー、
してみよう
- 週に一度は
自分磨きの
時間をつくるう
- 遊ぼう
- 休日は子どもと

The title at the top reads "私のワークライフバランス宣言" (My Work-Life Balance Declaration) and the subtitle below it is "～できることから、はじめてみませんか～" (From what you can do, why not start from now?).

合わせ、バランスのとれた生活スタイルを考えていくことが大切ではないでしょうか。年齢や家族形態、健康状態や仕事の内容などは人それぞれに異なるもの。自分に合ったヨーガライフバランスを実現するためには、自分が大目にしたいものは何かを考えるとや、家族やパートナーと話し合うことなどを必要でしょう。

すべての人の暮らしに大切なワークライフバランス。この機会に、あなたもじっくりと考

人生にはさまざまな時期があります。キャリアアップを目指して仕事に打ち込もうとした時期、子育てや介護で時間的・体力的に制約のある時期、後進を育てる時期、第一線を退きこれまでに積みえた経験を生かす時期…。自分の

※1 厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査」(平成13年度)
※2 21世紀職業財団「女性労働者の待遇等に関する調査結果報告」(平成17年)

わたしたちの ワークライフバランス



浦安市では「改定うらやす男女共同参画プラン」のもと、女性も男性も互いを認め合い、自分らしく、豊かに生きられるまちづくりを目指しています。「女性プラザ」はその拠点として、情報提供や相談などを行っています。

女性プラザ 利用案内

開館 月～金 8:30～17:00(土日祝休み)
住所 浦安市猫実1-1-2 浦安市文化会館2F
TEL 047-351-1111(内線1050)
FAX 047-353-1145
Mail urayasu-womensp@jcom.home.ne.jp

図書の貸し出し

*1人1回3冊まで、2週間貸し出しています。

困っていること、悩みごとがあつたら…

「女性のための相談」(予約制)

第1～4月・火・木曜日(10:00～16:00)
(うち3回は14:30～20:00)

「女性のための法律相談」(予約制)月2回

*詳細・予約は女性プラザまでお問い合わせください。

編集後記

「女性プラザニュース」にかわり、「うらやすP Life男女共同参画ニュース」を創刊しました。女性にとっても、男性にとっても、Plusになる情報を分かりやすくお伝えしていきます。今後ともよろしく。



profile

1944年秋田市生まれ。1969年東京大学経済学部卒業、同年東レ入社。年子で3児の父。自閉症の長男、肝臓病とうつ病の妻を支えつつ、2003年より東レ経営研究所(浦安市)社長。

interview

ハンディある家族を支え、ビジネスマンとしても活躍―― 佐々木常夫氏

過酷だった家族との歴史、それを支えるために18時退社を周囲に認めさせ、仕事でも自己実現を果たす過程をつづった著書「ビッグツリー」(WAVE出版)。現役会社員が実名で記したこの本への反響は、「予想をはるかに上回る大きさでした」。入退院を繰り返し精神的に不安定な妻を支え、家事・育児、加えて障がい児の親としての社会活動と、佐々木さんはまさに日々ワークライフバランスを実践してきた。「もともと私は長時間労働に懐疑的な考え方を持つていました。もちろん職種や業務内容によって例外はありますが、民間会社で自己完結できる仕事内容であれば、創意工夫と合理化で8時間労働が可能なはずです。時には上司と衝突もしましたが、成果を示すことで自分流を通しました。18時以降と週末は家族と自分のための時間にする、当時ワークライフバランスという言葉は知りませんでしたが、まさしくこれを実践していましたね」

企業のトップとなられた現在、「日本にはうつ病、障がい者、引きこもりや認知症、あるいは何らかのハンディのある人が2000万人といわれ、誰もがそうなる可能性があるのです。こういう人たちも暮らしやすい社会でなければなりません。少子高齢化の日本で、企業も生き残るためにダーバンシティーを実現しなくてはと、動き始めています。まだ氷山の一角が溶け出したような段階ですが、近い将来必ずワークライフバランスが主流になる。ワーキングブアといった構造的な問題は国策が必要ですが、まず個人が勇気を出して声を上げ、できるところから行動を起こす、仲間を見つけ連帯していくてほしい」。

※可能な人材確保のため、年齢、性別、障がいの有無、人種などを背景にした多様な価値観とそれを有する多様な人材を、企業経営に生かす取り組み

BOOK GUIDE



**ワークライフバランス入門
日本を元気にする処方箋**

著者: 荒金雅子、小崎恭弘、西村智
発行元: ミネルヴァ書房

ワークライフバランスについて、企業、行政、個人などさまざまな立場から多角的にとらえ、解説。実践するためのヒントを紹介しています。ワークライフバランスを知るうえで最適な入門書。



**経産省の山田課長補佐、
ただいま育休中**

著者: 山田正人
発行元: 日本経済新聞社

中央省庁に勤務する男性官僚が育休を取得したことなどで注目された一冊。著者自らが体験した等身大の育休生活が、ユーモアあふれる筆致で描かれています。既婚、未婚、子どもの有る、無しにかかわらず、育児の大変さと楽しさが伝わってきます。



WLB編 (ワークライフバランス)

有給休暇を どれくらい使っている?

労働者30人以上の企業で1年間に付与された年次有給休暇日数のうち、各労働者が実際に取得している日数を割合で示した取得率を見てみました。過去6年間は、付与日数の半分も取得できていません。これって働きすぎ?!

